

毎月11日は 「人権を確かめあう日」です

毎年4月11日には、奈良県内の市町村で「人権を確かめあう日」県内一斉集会が開かれます。この集会は、差別をなくす取組として、広範な県民運動にすることをめざし、1989年に市町村人権・同和問題「啓発連協」が提唱・設定して開かれているものです。

昨今、いじめや体罰事件などの報道に見られるように、私たちの身の回りでは、そうした行為によって多くの人々が傷つき苦しんでいます。

すべての人の人権は、同じように大切にされなければなりません。特定の人たちの人権だけが大切にされたり、逆に大切にされなかったり、誰かの人権を大切にするために他の人の人権が傷つけられたりすることは、あってはなりません。

また、人々が結びつき合って、生まれた文化や意識の中に、知らず知らずのうちに人をさげすんだり、のけものにするような部分はないか、自己点検することも大切です。

差別をなくし、すべての人が互いに人権を尊重しあえる社会を生み出していくため、お互いの存在を認めて尊重し合い、交流を深める中から、それぞれに成長を重ねていける、そうした豊かな人間関係を創り出していくことが大切ではないでしょうか？

【奈良県人権教育推進協議会編 「成人用なかま第6集」より一部抜粋】

宇陀市でも、「人権を確かめあう日」市民の集いを開催します。
皆様、ふるってご参加ください。

- 日時 **4月11日（木）午後1時30分～午後3時30分**
（受付午後1時～）
- 場所 宇陀市「農林会館」
- 集会テーマ 「ぬくもりやさしさをわかち合う『人権のまちづくり』」
- 記念講演 奈良県人権教育推進協議会副会長 田仲 敦三さん
演題：「人として生きる」